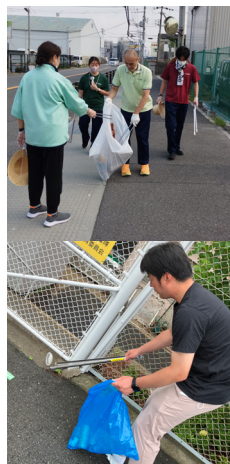




宙豊中の地域貢献

地域の方が主体的に楽しめる場に。
参加者とともに作る「宙(すばる)カフェ」



連携協定の一環として、職員による各事業所周辺での清掃活動も実施しています。

豊中市に育てていただいた法人として少しでも豊中市の方々に恩返しができるよう、市と連携しながら、今後も介護福祉、医療、薬局とグループの資源を活用したさまざまな取り組みを進めてまいります。

結している包括連携協定に基づいてこの活動に協賛し、駅を利用する方々の心の癒しや、緑や花がふれる景観づくりに貢献しています。



豊中市駅前の花壇。地域ボランティアの方がお花を世話してくれています。

阪急豊中市駅前の花壇は花と緑が鮮やかです。これは、豊中市が進める「とよなか花いっぱい運動」の活動の一つ。ウエル・サエラグループは、豊中市と締

協賛

豊中市を花と緑で彩る
「とよなか花いっぱい運動」に



定期巡回サービス 利倉清豊苑

■大阪府豊中市利倉3-4-19 ■対応エリア：豊中市全域

一日数分から、何度でも利用可能な定額制の在宅サービスです

利倉清豊苑では、豊中市全域に定期巡回サービスを提供しています。
訪問介護サービスや小規模多機能居宅介護とは異なる強みで、利用者様の在宅での暮らしを支えます。

■定期巡回サービスでできること

対象：要介護1～5の方

内容：入浴・排泄・食事などの身体介護や、掃除・洗濯・食事の後片付けなどの家事、服薬管理、安否確認など。

■定期巡回サービスのメリット

◎1日何度でも利用可能

時間に制限がなく、数分程度の短時間から、一日複数回利用できます。



〈例えばこんなケースにも〉

エアコンの稼働状況を確認してほしい、水分補給できているか見に行ってほしい、など。



◎24時間緊急対応

利用者様のご自宅に設置した「緊急呼び出し端末」のボタンを押すと、24時間いつでも介護士がかけつけます。

◎訪問看護サービスとの連携

訪問時に異変があれば訪問看護師と連携して迅速に医療につなげます。

〈連携事例〉

午前6時の訪問では異変がなかった方が11時の訪問では意識消失されており、看護師と連携を取って迅速に緊急搬送。重篤な状態でしたが、その後回復され、現在は施設で元気に過ごされています。

お問い合わせ先

電話：06-6210-6585

メール：k-ozaki@well-seikokai.jp



■定期巡回サービスと訪問介護の違い

定期巡回サービス	訪問介護
滞在時間の制限がなく、1分未満でも対応が可能	滞在時間に制限がある
訪問後にすぐ再訪することが可能	「2時間ルール」がある
24時間365日対応できる	日中のサービス提供が基本
緊急コールで即座に訪問できる	急な要望には対応しづらい
短時間のサービス提供が基本	長時間のサービス提供が可能

■基本単位数(月額制・日割り対応可)

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
5,446	9,720	16,140	20,417	24,692

※その他加算・減算あり



点数を気にせず一日何度でも利用できます

定期巡回サービスは定額制なので、「週に2、3回ではなく、毎日様子を見に行ってほしい」という場合でも点数を気にすることなくご利用いただけます。同じ定額制のサービスに小

規模多機能型居宅介護がありますが、定期巡回サービスは「ご自宅で生活する」ことに重点を置いており、通所サービスに抵抗感のある方にも受け入れられやすい点が特徴です。ご要望に応じて細やかに訪問し、利用者様とご家族の安心を支えます。利倉清豊苑の定期巡回サービスには男性職員が多数在籍しているため、入浴や介護度の高い方の介助なども気兼ねなくお任せいただけます。お気軽にご相談ください。

定期巡回サービス利倉清豊苑
計画作成責任者 尾崎 孝介



ウエルグループ | 入所系・通所系サービスのご相談は、下記の事業所へ直接ご連絡ください。QRコードから、それぞれの連絡先をご覧ください。

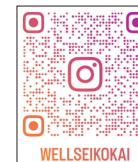
豊中市

- ①清豊苑 [特]
- ②利倉清豊苑 [地/デ/グ/小/定]
- ③美豊苑 [特/ケ]
- ④刀根山美豊苑 [地/デ]
- ⑤輝豊苑 [デ/グ]
- ⑥ウエルケアプランセンター

- ⑦ウエリスト [小/デ]
- ⑧社会福祉法人香聖会 宙(すばる)豊中 [地/グ/小]
- ⑨庵とよなか庄本 [有]
- ⑩エターナル緑地 [有]

宝塚市

- ⑪宝塚清光苑 [特/デ/グ/小/ケ/定]
- 芦屋市
- ⑫陽光苑 [地/デ/グ]
- 西宮市
- ⑬バセム西宮 [有]
- ⑭ケアプランセンター西宮清光苑



[特]特別養護老人ホーム [地]地域密着型特別養護老人ホーム [デ]デイサービス [グ]グループホーム
[小]小規模多機能型居宅介護施設 [ケ]ケアプランセンター [有]有料老人ホーム [定]定期巡回サービス

ウエル
の
今を
深掘り！

■ 宙豊中の地域貢献

地域の方が主体的に楽しめる場に。 参加者とともに作る「宙（すばる）カフェ」

宙豊中では、2023年からオレンジカフェである「宙（すばる）カフェ」を月に一度開催しています。継続的に取り組みを続ける中で、カフェは今、地域の方々のコミュニティの場になっています。

参加者の要望に応じて 活発で楽しい1時間に

Q…カフェをスタートしたきっかけは？

A…地域包括支援センターから「施設のスペースを活用してオレンジカフェを開催してほしい」という相談を受けたことがきっかけです。ウエルグループとしても、これまで育てていただいた地域に貢献したい、地域の方々の健やかな暮らしに役立ちたいという想いがあったため、手探りながらも同センターのサポートを受けてスタートしました。

Q…カフェの様子を教えてください。

A…「オレンジカフェ」というと認知症に関して情報交換を行う茶話会形式が一般的ですが、いざ開催してみると、参加者のみなさんはお元氣な方ばかりで、「体操がしたい」「歌を歌いたい」といった活発なご要望が多く聞かれました。みなさんの声をもとに内容を充



専門人材を活かして 役立つ情報を発信

Q…宙カフェの特徴は？

A…参加者の方々の興味・関心に応えるために、ウエルグループに所属する様々な専門家の力を借りていることが大きな特徴です。最近では、機能訓練士による体操や体力測定を実施しました。機能訓練士の専門的な知識を活かし、正しく体を動かす方法やご自身の身体機能の状態を知っていただき、健康増進に役立てていただいています。体を動かすことに消極的な方もいらつしやるかと思いましたが、皆さんが意欲的で、「体力測定の結果が運動する励みになる」とおっしゃってくださいました。

Q…今後はどのような内容を計画していますか？

A…宙豊中で提供しているお食事をみなさんに召し上がっていただく食事を実施したいと考えています。その中で、施設の管理栄養士から参加者の方々に摂っていただきたい栄

実させてきた結果、現在では1時間の中で体操やレクリエーション、茶話会など多彩なメニューを盛り込んだ楽しいカフェになっています。

参加者の方々はリピーターが多く、お菓子やお茶の用意を手伝ってくださるなど、「お客様」ではなく主体となって楽しみながらカフェ運営にご協力いただいています。中にはご自身が趣味で作られた刺繍などの作品を持参され、他の参加者の方々にプレゼントする方も。参加者の方々同士で友人関係を築かれ、カフェ終了後もお話に花が咲いてしばらく残っておしゃべりをされる方もいます。その様子を見ると、宙豊中が地域の方々のコミュニティ形成の場所になっていると感じます。



養などをレクチャーし、食事への意識を高めるお手伝いをしたいですね。

また、6月に開催したカフェでは、「美容レク」と題して、地域包括支援センターからご紹介いただいた介護福祉士兼ネイルリストのボランティアの方によるネイル体験会を開催したところ、女性の参加者に大変好評でした。「次はフェイシャルも」というお声もいただいています。美容だけでなく、音楽会など地域のボランティアの方々と連携して多彩なコンテンツを提供していきたいと思っています。

Q…カフェ運営が長続きしている秘訣は？

A…一年半継続してきて思うのは、参加者の方と一緒に「カフェを作る」という意識が大切であることです。運営側が全てを決めて提供しては、参加者の方が受け身になってしまします。持続性のある活動にするには、参加者の方々に楽しんでいただくことが最も大切ですが、そのためにはやはり主体的に取り組める内容であることがベターだと考えています。毎回決まったメニューを繰り返すのではなく、皆さんの意見を聞きながら柔軟に内容をアレンジし、これからも一緒にカフェを作り上げていきたいと思っています。



地域に深く根ざして いつでも頼れる身近な存在へ

Q…カフェ開催を通じて目指していることは？

A…まずは地域に「宙豊中」という施設があることを知っていただき、親しみを持っていただくこと、宙豊中が地域に深く根ざしていくことが大切だと考えています。カフェをスタートした当初は、参加者の方々も当施設を「知らなかった」「敷居が高く感じられていた」とおっしゃっていましたが、今ではカフェの開催日だけでなく、施設のイベントに立ち寄ってくださる方もいらつしやり、身近に感じてくださっていることが分かります。

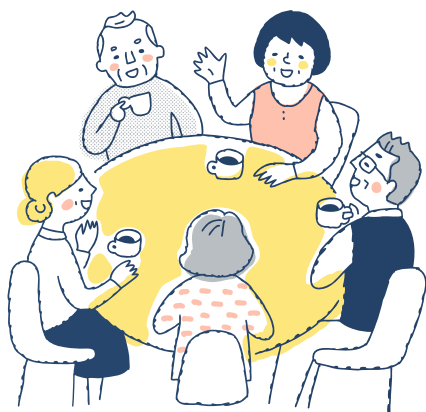
カフェへの参加をきっかけに、施設のサービスご利用の相談をいただいた方もいれば、「何か手伝いたい」とおっしゃって、週に3回ほどスタッフとして厨房に立つてくださっている方もいるほど、参加者の方々との関係性は深まっています。

Q…地域の方々との関係づくりで大切にしていることは？

A…お困りの時にはご相談いただける信頼関係を築いていきたいと思っています。ただ、「ウエルグループのサービス



参加者の皆さんからいただいたリクエストをもとに、ゲームなどのレクリエーションを交えて多彩な内容を企画。楽しめる内容だからこそコミュニティが生まれ、継続的な参加につながっています。



参加者の方からは、こんな声をいただいています！

今後、体調不良などになった時には相談したい。
70代女性

友達づくりができたので
参加して良かった。
80代女性

これからも楽しく
おしゃべりがしたい。
70代女性

体を動かすことがしたい。
70代女性

のご利用につなげる」という私たちの都合だけを考えていてはその関係は長続きしません。それを目的とせず、まずは地域の方々が生き生きと楽しんでくださる場を提供することが大切です。

ウエルグループには、他にもオレンジカフェの開催を検討している事業所があります。地域に根ざし、貢献できる活動をグループ全体で進められるよう、私たちがこれまで蓄積してきたノウハウを伝えていきます。

お元氣な方にこそ参加いただき、カフェを盛り上げていただきたいと思います。
宙豊中 施設長 本川 裕之

